

寒い日がまだまだ続きますが、戸外では寒さなんて吹き飛ばせ！！とたくさん遊んでいる子ども達です。2月になり新年度（4月）まで残り2か月になりましたね。年中さんの素敵な姿をよく見て、学び、年少さんも素敵な年中さんになれるように進級に向けて少しずつ、ですが焦らずに意識をしていきたいと思ひます。

お当番みならいスタート

進級し、年中になるとお当番活動で事務所と給食室に挨拶・その日の人数の報告を行います。2月は今の年中さんと一緒に活動し近くでそのかっこいいお当番活動の姿を間近で見学する見習い期間に入ります。お集りでみんな見習いについて話すと「お当番活動ってなにをするの?」「どうやって挨拶するのか」等、ワクワクしたり、憧れのお当番バッジをつけられるのかなぁと目を輝かせている子もいましたよ。

- 1.かかとをつけて、つま先を少し開く
- 2.背筋を伸ばして真っすぐ立つ
- 3.身体の横に
- 4.相手の目を見る
- 5.ふらふらしない

この5点を意識できるように見習いに取り組んでいきたいと思ひます。また、体操の前には気を付けをしてみる、ふらふらしないようにバランス感覚を鍛えられる遊びを生活の中で取り組んでいますよ。子ども達は、「たのしみ〜♪」とお当番活動をする事を楽しみにしていますので今からやる気満々です！！

気持ち・考えを知ろう

年齢別活動・子ども会を通して、年少さんは友達との交流や一緒に遊びを成し遂げるといふ事をたくさん経験してきました。友達との関りが増えた事により、自分の気持ちと相手の気持ちの違いでうまくいかなかった事や話し合うことで、言葉で伝えれば理解してくれるんだ!という成功体験を積み重ねている最中です。文章でのコミュニケーションが上手に取れるようになってきた事、自分の気持ちを言葉で伝える事がだんだんと出来てきたからこそ友達と遊んでいると友達との考えの違いに戸惑う場面が多々あります。年少さんは、相手にも気持ちがある事や自分とは異なる考え方があることを知っている最中です。

「かして」「だめだよ」

「貸してっていつているのに貸してくれない…泣」（一緒に遊びたかったのに…）

「今は一人で遊びたい気分」（じっくり一人で遊びたい気持ち）

そういう気分の時もありますよね。

「じゃあ、後でいれてね。」と気持ちが切り替えることが出来ればよいですが、一緒に遊びたい子は「なぜ、一緒に遊んでくれないんだ。」（いれてくれない。かなしい…）と感じるかもしれません。自分の気持ちのみ考えると譲れないことも…。年少さんは相手にも気持ちがある事や自分とは違う考え方があることを知るためのまず第一歩として、お互いに自分の気持ちを話すことで友達との考え・気持ちの違いを聞く、考えてみる事を促しています。相手の気持ちを考えられることで友達との関係性もさらに良くなり、次の年中さんとして年少さんの事を考えられるいい見本になって欲しいなと思ひます。

今までは子どもの気持ちを代弁したり、大人の言葉を繰り返すことでやり取りしていましたが、これからは「じゃあ、どうすればいいと思う?」など子ども達自身で考えられるように声かけをしていき、相手の気持ち・考えに触れる機会をたくさん経験してほしいなと思ひます。